

甌島

手打地区

日常マップ

甌島繁栄の歴史がここに 情緒あふれる手打

手打地区は甌島最南端で、かつて薩摩藩の貿易の拠点になっていました。手打麓にある下甌郷土館では、武士が麓に住んでいた時代の生活を見る事ができます。釣りバカ日誌やDr.コトー診療所など、たくさん名作の舞台にもなっている手打地区は、集落ごとに言葉や文化が異なります。手打海岸沿いを走る県道から、中に入った集落内の道を歩きながら、それぞれの情緒を感じてみては？

🗺️ イチオン方言：きやらっど〜!(来るぞ)

🗺️ かえるの呼び方：どんこう

■ 手打地区のイベント・行事

1月 鬼火焚き 4月 えびす祭り 8月夏祭り
9月 敬老会・合同運動会 10月 アクアスロン大会
12月 手打ウォーキング大会

手打地区はこの辺り!

元禄11年(1698年)道楽寺10代目住僧、丹山親和尚が仏教布教のために建てた石像。和尚の名をとって丹山様と呼ばれる。

手打地区の守り神
郷土芸能が奉納される。

昔は運動会ができるほど砂浜が広がっており、ウミガメが筋道ごとに産卵にきていた。

UFO目撃情報あり!?

棕鳩十作、「孤島の野犬」のモデルで、絶滅してしまった甌島列島固有種、甌山犬の像。

手打全体

港

2019年5月に、手打麓が
日本遺産に登録されました

手打麓武家屋敷通り

港の津口番所から新田八幡神社まで続く、手打麓の武家屋敷通り。現在の下甌支所の場所にあった地頭仮屋跡を中心に麓集落が広がっていた。下甌郷土館では、当時の生活を見る事ができる。街灯と石垣の街並みが美しく、夕方に歩くのがおすすめ。



手打地区、港は昭和初期まで、珊瑚産業で一気に発展した。サンゴバブルの時期は全国から港に移り住む人達が大勢いた。最も栄えていた頃は、百貨店と呼ばれる店があった。

港が珊瑚で栄えていた頃に建てられた寺。通称：サンゴ寺

外国船との貿易をしていた時、海上取り締まりをしていた番所の跡地。

本町と港のトシドン様は馬乗瀬からやってくる。

景気が良すぎて酒で足を洗える銭湯があった!?

第二次世界大戦中のゼロ戦が発見された。現在は知覧の特攻平和会館にある。

異国船の監視をしたと記録されている灯台。夕焼けが美しい。

海岸の岩場に無数の謎の穴がある。

孤島の野犬像
甌のトシドン様は勝山からやってくる。



トシドン様

トシドン様は天上界に住んでいて、いつも子供達の事を見ている。大晦日に、首切れ馬や貝殻船に乗って各地に降り、子供のいる家にやってくる。子供の悪い行いは戒め、良い行いは褒めて、良い子になるように約束させ、年餅を与える。1977年に国の重要無形文化財、2009年にはユネスコの無形文化遺産に登録(2018年には「来訪神：仮面・仮装の神々」として拡張登録)された。



本町

薩摩藩の馬を調教していた。

調練場跡

トシドン様がきょーらっど〜きょーらっど〜きょーらっど〜

小泊公園
蛭子神社

至 釣掛埼灯台

電宮の郷前

行き止まり

↑至青瀬・片野浦

城之峰



手打地区の田んぼでは今まで200種類以上の野鳥が観測されている。

夜歩くと狸にばかされると言われている。

大原・宮園遺跡

手打麓武家屋敷

石灯籠

武家屋敷通りの入り口にある、石で出来た灯籠。

手打海岸

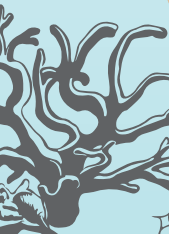
映画「釣りバカ日誌」のロケ地になった砂浜。

手打湾

約1キロの階段状の堤防。ジョギング&ウォーキングに最適。

薩摩藩の密貿易の為、手打では江戸時代に為替ができた。

手打後馬場海岸



法雲寺前
法雲寺

下甌住民生活センター

津口番所跡
浜上

甌島漁協 下甌支所

漁協前

手打港

行き止まり